

2021（令和3）年度公益社団法人日本図書館協会公共図書館部会第1回幹事会議案書

～2021.4.21（書面決議）

議案第1号	2021（令和3）年度公共図書館部会幹事選出について
議案第2号	2021（令和3）年度公共図書館部会部会長・副部会長選出について
議案第3号	2021（令和3）年度公共図書館部会代議員候補の推薦について
議案第4号	2020（令和2）年度公共図書館部会事業報告（案）について
議案第5号	2020（令和2）年度公共図書館部会決算報告（案）について

議案第1号・第3号の役員のうち、九州沖縄地区の選出は、事務局の依頼が遅くなったため、現在選出中です。選出後改めて、第2回幹事会で幹事の皆さんの承認を得る予定です。

懸案事項 2021年度日本図書館協会理事候補者の選出について

この案件については、公共図書館部会規程第10条第5項で、「部会は、原則として当該部会の部会長を理事候補者とする。ただし、特別な事情がある場合には、部会総会で選出した者を理事候補者とすることができる。」としており、2020年度第2回幹事会で新たな幹事・部会長・副部会長が選出されたのちに、現在の理事中山勝文氏を交えて協議予定としている。参考として議案第5号の後に経過を記している。

議案第1号 2021(令和3)年度公共図書館部会幹事選出について

九州沖縄地区は地区選出後、書面決議を行う。

		2021(令和3)年度幹事候補		2020(令和2)年度幹事		
	選出単位	氏名	所属等	氏名	所属等	
1	施設 会員	北日本	佐藤 禎人	青森県立図書館	齋野 和則	福島県立図書館
2			藤岡 宏章	岩手県立図書館※	小田島 正明	岩手県立図書館
3		関東甲信越静岡	山田 順一	茨城県立図書館	稲葉 友昭	群馬県立図書館
4			宇梶 宏美※	栃木県立図書館※	宇梶 宏美	栃木県立図書館
5			内山 恵介	さいたま市立中央図書館	安部 浩成	千葉市中央図書館
6		東海 北陸	齊田 正治	石川県立図書館	杉原 栄	富山県立図書館
7			近藤 雅俊	愛知芸術文化センター 愛知県図書館	別所 志津子	三重県立図書館
8		近畿	大賀 浩一	大阪府立中央図書館※	西口 禎二	大阪府立中央図書館
9			浦部 文子	堺市立中央図書館	三木 信夫	大阪市立中央図書館
10		中国	森脇 宏介	島根県立図書館	網浜 聖子	鳥取県立図書館
11		四国	小池 照雄	愛媛県立図書館	渡邊 勇人	香川県立図書館
12		九州 沖縄	依頼中		濱田 義之	熊本県立図書館
13			依頼中		吉田 恵子	福岡市総合図書館
14	個人会員	安宅 仁志※	(千葉県立西部図書館)	安宅 仁志	(千葉県立西部図書館)	
15		水澤 弘幸※	(さいたま市立与野図書館)	水澤 弘幸	(さいたま市立与野図書館)	
16		堀 渡※	(白百合女子大学)	堀 渡	(白百合女子大学)	

※は、2020(令和2)年度から継続しての幹事(6名、うち3名は施設が同一の館)

敬称略

部会規程（幹事の選出）施設・個人会員とも部会総会の承認が必要。幹事会で先行確認。

第6条 幹事の選出方法は次のとおりとする。

- (1) 施設等会員選出幹事については、別表1に掲げる各地区の施設等会員から2名を互選により選出し、部会総会で承認する。ただし、関東甲信越静岡地区からの選出数については3名とすることができる。
- (2) 個人会員選出幹事については、第10条に規定する幹事会において、部会長が候補者を推薦し、その幹事会の承認を経て、部会総会で承認する。

別表1 （第6条（1）の規定による）

地区別	都道府県名
北日本	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東甲信越静岡	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県
東海北陸	富山県、石川県、福井県、岐阜県、愛知県、三重県
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、
中国四国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州沖縄	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

議案第 2 号 2021(令和 3)年度公共図書館部会 **部会長・副部会長** 選出について

	2021(令和 3)年度部会長・副部会長候補	2020(令和 2)年度部会長・副部会長
部会長	山田 順一 (茨城県立図書館)	宇梶 宏美 (栃木県立図書館)
副部会長	大賀 浩一 (大阪府立中央図書館)	西口 禎二 (大阪府立中央図書館)
	部会長承認後 選出予定	杉原 栄 (富山県立図書館)

敬称略

部会長は、関東地区公共図書館協議会会長館にお願いしており、茨城県立図書館山田順一館長を候補とした。

また、副部会長については、一人目は、2020 年度第 2 回幹事会で当時の副部会長西口館長から後任者に引き継ぐとの発言をいただいております、大賀浩一館長を候補とした。二人目の副部会長は、部会長選出後、部会長から推薦いただく予定です。

部会規程 (部会長及び副部会長の選出)

第 7 条 部会長及び副部会長の選出は、次のとおりとする。

- (1) 部会長の選出は、第 10 条に規定する幹事会において幹事の互選により選出し、部会総会に報告する。
- (2) 副部会長の選出については、第 10 条に規定する幹事会において、幹事の中から部会長が推薦し、その幹事会の承認を経て選出し、部会総会に報告する。

議案第3号 2021(令和3)年度公共図書館部会代議員推薦候補について

九州沖縄地区は地区選出後、書面決議を行う。

		2021(令和3)年度代議員推薦候補		2020(令和2)年度代議員	
	選出単位	氏名	所属等	氏名	所属等
1	北日本	佐藤 禎人	青森県立図書館	安食 徹	福島市立図書館
2		猿川 由子	盛岡市都南図書館	小田島 正明	岩手県立図書館
3	関東甲信	高野 正晴	埼玉県立熊谷図書館	金子 隆	埼玉県立熊谷図書館
4	越静岡	吉田 英津子※	新潟市立中央図書館	吉田 英津子	新潟市立中央図書館
5		林 栄一	水戸市立中央図書館	松本 崇	水戸市立中央図書館
6	東海	齊田 正治	石川県立図書館	杉原 栄	富山県立図書館
7	北陸	近藤 雅俊	愛知芸術文化センター 愛知県図書館	別所 志津子	三重県立図書館
8	近畿	中西 進	京都市中央図書館	筒井 弘和	奈良県立図書館情報館
9		村上 元伸	兵庫県立図書館	岡田 宏二	神戸市立中央図書館
10	中国	松本 道夫	山口県立山口図書館	山本 聖典	広島県立図書館
11	四国	藤川 隆	徳島県立図書館	山崎 生	高知県立図書館
12	九州	依頼中		宮迫 敏郎	大分県立図書館
13	沖縄	依頼中		原口 泉	鹿児島県立図書館

※は、2021(令和3)年度から継続しての代議員(今のところ1)

敬称略

部会規程（協会代議員の推薦）

第12条 本法人の代議員選挙規程第19条の規定により代議員候補者の推薦を行う場合、部会長は各地区からの推薦を得て、幹事会の承認を経て本法人の選挙管理委員会に推薦する。

2 部会長は、代議員候補者の推薦にあたり、各地区の施設等会員選出幹事に、各地区施設会員の会員数に鑑みて、別表2により必要候補者数を依頼する。

3 前項により推薦した代議員が欠けた場合には、部会長は、当該代議員が欠となる地区から速やかに補欠の候補者を推薦するものとする。

別表2 （第12条2の規定による）

地区別	代議員数
北日本	2
関東甲信越静岡	3
東海北陸	2
近畿	2
中国四国	2
九州沖縄	2

議案第4号 2020（令和2）年度 公共図書館部会事業報告（案）

1 2020（令和2）年度公共図書館部会総会

日時：2020（令和2）年6月12日（金）～6月25日（木）

方法：書面決議 決議出席者：633名

（定足数は、部会員2940名、特例規程により10分の1以上の出席（295名以上）で総会は成立した）

議事

- (1) 2019(令和元)年度事業報告及び決算報告（賛成633、反対2）
- (2) 2020（令和2）年度事業計画及び予算（賛成631、反対2）
- (3) 2020（令和2）年度公共図書館部会幹事の選出について（賛成633、反対0）
- (4) 2020（令和2）年度公共図書館部会長・副部会長の選出について
（賛成632、反対1）
- (5) 公共図書館部会規程の改正について（特例規程の部会規程への盛り込み）
（賛成619、反対14）

(1) から (5) までの議案が、いずれも上記のとおり賛成多数で承認された。

主な意見

- ・部会規程の改正について、もっと慎重に進めるべき。
- ・決算書の流用について、わかりやすく。

2 幹事会の開催

- (1) 第1回幹事会 2020（令和2）年6月4日（木）～6月11日（木）

方法：書面決議 決議出席者：16名（定足数は過半数で成立、16名全員出席で幹事会は成立した。）

議事

- ①2020（令和2）年度公共図書館部会総会の書面決議による開催について
（賛成16、反対0）
- ②2019(令和元)年度事業報告及び決算報告（賛成16、反対0）
- ③2020（令和2）年度事業計画及び予算（賛成16、反対0）
- ④2020（令和2）年度公共図書館部会幹事の選出について（賛成16、反対0）
- ⑤2020（令和2）年度公共図書館部会長・副部会長の選出について
（賛成16、反対0）
- ⑥公共図書館部会規程の改正について（特例規程の部会規程への盛り込み）
（賛成15、反対1）
- ⑦2020（令和2）年度公共図書館部会総会議案について（賛成15、反対1）
- ⑧2020（令和2）年度公共図書館部会代議員推薦候補について（賛成16、反対1）

①から⑧までの議案が、いずれも上記のとおり賛成多数で承認された。

(2) 第2回幹事会

日時：2021（令和3）年3月2日（火）午後2時から4時まで

方法：Webによる会議開催及び書面決議

Zoom 出席幹事 10名、書面決議 5名、議長委任出席 1名 計 16名

議事

- ①2021（令和3）年度公共図書館部会事業計画（案）及び経費収支計画書（案）について
- ②2021（令和3）年度公共図書館部会幹事会及び総会の開催方法について
- ③2021（令和3）年度公共図書館部会役員体制について
- ④その他
 - ア 図書館資料費増額・図書館振興についての今後の進め方についていずれも賛成多数で承認された。

報告

- ①2020（令和2）年度公共図書館部会事業報告及び決算見込みについて
- ②2020（令和2）年度全国公共図書館研究集会（サービス部門 総合・経営部門）の結果について
- ③2020（令和2）年度公共図書館部会図書館活動調査について
- ④令和3（2021）年度予算における図書館関係地方交付税について
- ⑤文化審議会著作権分科会「図書館関係の権利制限規定の見直し（デジタル・ネットワーク対応）に関する報告書」（案）について
- ⑥授業目的公衆送信の扱いについて
- ⑦その他
 - ア 部会規程の部会役員任期について
 - イ 部会規程の部会推薦代議員数について。

主な意見等

- 昨年の幹事会・総会が新型コロナウイルス感染症の影響で書面決議となったため初めての顔合わせとなった。そのため冒頭で出席幹事の自己紹介を行い、新型コロナウイルスの影響、2月13日の地震の影響などを情報交換した。
- 今後の規程改正の予定が事務局から報告された。部会規程の第9条幹事任期と第12条に代議員選出規定が来年度改正提案される見込みであるとの報告があった。
- ①幹事任期は通則規程やほかの部会規程は2回まで再任でき、相当の理由があれば、この限りでないとしているが、公共図書館部会は3回まで再任されることができると規定され、整合性が取れていないこと。

②現在、代議員選挙規程の検討が行われており、公共図書館部会は 規程の中に代議員数が明記されているが、施設会員数の変動などあるので 理事会の定数決定により変化する可能性がある。このことをふまえて、来年度の幹事会・総会で提案する予定であることが事務局から報告された。

○Zoom 会議はスムーズに行えたが、自治体の情報環境により出席できない 幹事があり今年度予算の流用等で環境整備をする可能性を事務局から報告した。最終的に、別紙決算書のとおり、PC2 台を購入。ただし部会で資産は持てないため、協会資産として、減価償却等を行えるよう、日本図書館協会の什器備品とし、部会は借用して役員に貸し出す。流用)旅費交通費から 315,000 円

3 全国公共図書館研究集会の開催

サービス部門 総合・経営部門

2021 (令和 3) 年 1 月 15 日 (金) 10:00~1 月 31 日 (日) 17:00

- ・方法：インターネット配信
- ・テーマ：図書館とバリアフリー —あらゆる人に開かれた図書館とは—
- ・基調講演：野口 武悟氏 (専修大学文学部教授)
- ・申込総数 754 名 合計のべ再生回数 11096 回
- ・主管 大阪府立中央図書館

<http://www.jla.or.jp/divisions/koukyo/tabid/272/Default.aspx>

4 公共図書館部会通信の発行

No.8、No.9 の 2 号を発行した。

<http://www.jla.or.jp/divisions/koukyo/tabid/272/Default.aspx>

5 都道府県立図書館を市区町村立図書館への情報提供

- (1) 文科省委託「読書バリアフリーに向けた図書館サービス研修」,障害者サービス初級講座「すべての図書館で行ってほしい障害者サービスの実際」の周知依頼 (2020 年 10 月 23 日都道府県立図書館メール送信)
- (2) 日本図書館協会主催事業「2021 年度中堅職員ステップアップ研修 (2) 周知協力 (2021 年 3 月 25 日都道府県立図書館メール送信)

議案第5号 2020(令和2)年度公共図書館部会決算(案)

2020(令和2)年度 公共図書館部会 決算(案)					
2020年4月1日から2021年3月31日まで					
<収入の部>					
(単位:円)					
科目	予算額		決算額	増減額	説明
部会活動費	1,286,000		1,140,000	146,000	
雑収入				0	
収入計	1,286,000		1,140,000	146,000	
<支出の部>					
科目	予算額	流用額	決算額	増減額	説明
全国公共図書館研究集会	300,000		300,000	0	全国研究集会 ・サービス、総合・経営部門 (大阪府東大阪市)
幹事会交通費	504,000	-315,000	0	189,000	第1回幹事会 0円(書面決議) 第2回幹事会 0円 (新型コロナのためWebで会議開催) 流用) 什器備品費へ流用 -315,000円
アンケート調査集計	470,000		0	470,000	新型コロナのため、学生等アルバイトの対応が難しいため、事務局で対応できる範囲での調査とした。
事務費	12,000		2,220	9,780	切手代 1800円(部会長館との事務連絡5回分) 全国研究集会実行委員会(大阪府立中央図書館)あて振込手数料 100円 PC購入代金振込手数料 220円 協会振替手数料 100円
什器備品費	0	315,000	314,600	400	PC2台購入分、ただし部会で資産は持てないため、協会資産とし減価償却等が行えるようにし、部会は借用して役員に貸し出すこととした。 流用) 旅費交通費から315,000円
予備費	0		0	0	
計	1,286,000	0	616,820	669,180	残金669,180円は、協会会計に戻入
最終的な流用額はPC2台の購入代金315,000円とした。					

懸案事項 2021年度日本図書館協会理事候補者の選出について

部会規程（部会の役員）第10条

- 4 部会は、本法人の理事及び監事選任規程第8条第3項の規定に基づき、理事長から理事候補者の推薦を求められた場合には、すみやかに理事候補者を推薦するものとする。
- 5 前項に規定する理事候補者の推薦を行うに当たり、部会は、原則として当該部会の部会長を理事候補者とする。ただし、特別な事情がある場合には、部会総会で選出した者を理事候補者とすることができる。

現在の部会選出理事：中山勝文氏（前群馬県立図書館長）

任期は2021年度第1回代議員総会終了(2021年6月10日)までのため、それ以降の理事候補を推薦する必要がある。

理事長名で2021年4月22日以降推薦依頼がある予定。

経緯：2019年4月の理事候補の推薦の際に、前栃木県立図書館長の五十嵐一彦氏（その当時の公共図書館部会長）に、理事候補を依頼したが、「現職で理事となることは望ましくないと考えている」として辞退されたため、前任の中山勝文氏に継続して理事候補を依頼し、代議員による理事選挙により当選、2期4年、理事を務めていただいている。